

▼フレンズコーナー

仕事で遊ぶ～地域の人と共に楽しみたおす～

一般社団法人ツタワールドボク 代表理事
株式会社特殊高所技術 執行役員
株式会社 Splice-Lab 代表取締役
片山 英資



きっかけをくれる人

「片山さん、ONとOFFって言いますが、我々はONしかありませんよね？」 虚を突かれた私は「あ、うん」と薄っぺらな返事をした。どうということかと問うと、彼は仕事しているときも遊んでいるときも、家でくつろぐ時も、寝ぼけているときも、ずっとONだと言う。なぜならば人生を常に楽しもうと努力しているから、アイデアはいつでも生まれるし、全てが全ての糧となり、密接に関連するからだと言った。今度は、「全くだ！」と心の底から答えた。これまで言葉にしただけで、私はそう心掛け、そう生きようといつもしてきたし、これからもそうするだろう。でも誰かが言葉にしてくれるだけで、同じような考えの仲間がいるという実感がわき、安心とスッキリ感が私を包んだ。

遊ぶように仕事をする

「仕事で遊ぶ」と文字にすると、ふざけているか、ビジネスや誇りある営みを冒涇しているかのように受け止められるかもしれない。しかし、いったい誰が、いつから仕事は生真面目で、常に正確で、常に品行方正でなければならないと決めたのだろう。プライベートの経験から、誰もが実はわかっている。自らが楽しんでいない人と共に何かに取り組んだとしても楽しくない。逆の表現をすると、本気で楽しんでいる人同士が挑戦すれば、何十倍も楽しくなる。

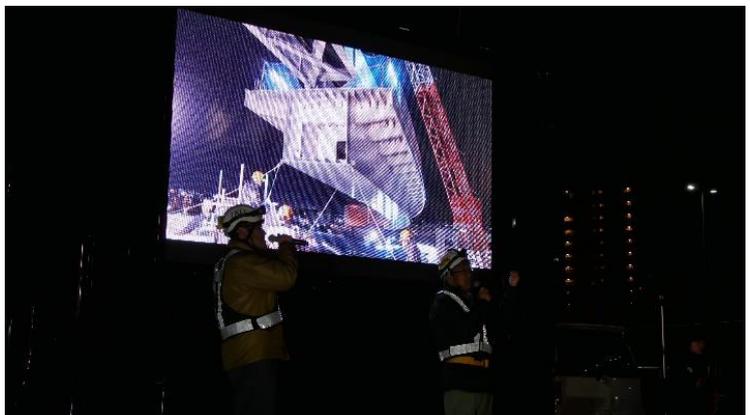
土木の意義や魅力を伝えたい。そう願うのならば、その挑戦をするのならば、遊ぶように仕事をするが良い。楽しいことは広めたいし、興味のなかった人たちも吸い寄せられるように、楽しんでいる人たちに意識を向けはじめ。少なくとも、私の周りにはいる土木広報に携わる人たちの共通点はこれだと思う。土木の魅力や意義を伝えたい。土木技術者の同志よ、誇りを胸にもっと遊ぶように仕事をしよう。

地域の人と共に楽しむ

素人風情の土木技術者が、楽しませる場を提供するなんておこがましい。共に楽しめるように努力しあう場を作りたい。そういう想いを抱いていた昨年、川田工業株式会社の先輩から、「大規模な架設があるから面白くしてみないか？」と声がかかった。きっかけをくれる人は、いつも絶妙なタイミングで現れてくれる。「架設をライブにしたい！」と私は即答した。



架設を解説する私と川田工業の児島氏



架設のライブ中継の様相

そこからは川田工業株式会社の現場・設計・施工計画・営業の皆様や、ツタワールドボクの皆様から溢れだすアイデアを繋ぎ合わせたに過ぎない。地域の人と楽しみたいと意見を言えば、では地元の神社とコラボしては？というアイデアが生まれ、神社と言えは？という「願いをかける」というキーワードが飛び出してくる。そして、神社の方にも主体的に運営に関わってもらおう。楽しみたいが結集する。その結果、巨大スクリーンを現地に置き、通常の架設見学では退屈な時間となりがちな、架設準備や、ゆっくりと巡回する時間、数 mm の精度を確保している調整の時間を使って、肉眼では見えない現場の近接風景を中継・解説し、この橋に携わっている人や技術を紹介した。中継で「現場の藤木さん！」と言ってみたい。そんなささやかな私の願いもかなった。

一体感を育む仕組みは、「願いをかける」に賭けた。神社のご協力で絵馬を準備し、見学者には願い事を書き込んでもらった。その絵馬を橋桁の中に奉納し、架設の安全祈願とあわせて神事を執り行ったのち、一緒に架設した。その行為ひとつで、どこかで誰かが架ける橋が、皆の橋を架けるといって一体感を生んだ。

実はもう一つ魔法もかかった。集まった地域の人と共に全ての職人さんも神事に参列し、数百人の地元の方々に「ご安全に！」という声をかけられ、誇りある仕事の持ち場に着いた。確証はないが、おそらく職人さんは普段の何倍も気合いが入ったのだろう。完璧なる仕事っぷりで、見事に難易度の高い曲線桁の大ブロック架設を予定通りに何のトラブルもなく架けきった。仮設完了時には、割れんばかりの拍手が巻き起こった。まさに架設はライブエンターテイメントとなった。

常に人ありき

先日、鋼橋界のレジェンドが我々後輩たちに語った言葉の一つに、「最後は人だ」というメッセージがあった。何かを伝える相手も人、伝えようとするのも人、創るのも、助けてくれるのも、喜ぶのも人だ。そして人のために、多くの人の技術や時間を結集してつくり、守り続けるのが我々の土木の仕事だ。常に人と共にあることを胸に歩みたい。まさに土木工学は人間考学（九州工業大学渡辺明名誉教授のお言葉）だ。

そして、楽しみたいおす人にも苦しい時は来る。その時にツタワールドボクやシビル NPO 連携プラットフォーム（CNCP）が、支え合い、分かち合えい、時にきっかけを与えあう同志たちが集う場所でありたい。土木が伝わるまでの道のりは、まだまだ長い。

●一般社団法人ツタワールドボク facebook :

<https://www.facebook.com/tsutawarudoboku.association/posts/962334494129969>

●日刊建設工業新聞ブログ：【地元神社とコラボレーション】川田工業、北九州市で橋桁架設イベント開く

[https://nikkankensetsukogyo2.blogspot.com/2019/12/blog-](https://nikkankensetsukogyo2.blogspot.com/2019/12/blog-post_97.html?m=1&fbclid=IwAR36S_8fP1iSD6lboxezLu36KuafVHmcydqZD1-DQ_19a7n7TZDHaB-u85ul)

[post_97.html?m=1&fbclid=IwAR36S_8fP1iSD6lboxezLu36KuafVHmcydqZD1-DQ_19a7n7TZDHaB-u85ul](https://nikkankensetsukogyo2.blogspot.com/2019/12/blog-post_97.html?m=1&fbclid=IwAR36S_8fP1iSD6lboxezLu36KuafVHmcydqZD1-DQ_19a7n7TZDHaB-u85ul)



全員一丸となった神事



絵馬に願いをかける参加者